寒暖差の激しいここ最近の天候ですが、心と いつの間にか和らいだ暖かな陽射しに、確かな春の訪れを感じ ほっとするこの頃です。今年は 桜の開花宣言が 例年より早く、全国のあちこちで聞こえてきました。保育園の下の 電車の桜並木も もう間もなく、命の息吹をいっぱい輝かせ、美しいピンク色のトンネルに 様変わりすることでしょう。

さて、お蔭様をもちまして 今年度も 神様の 祝福あふれる御手の中に在って導かれ、たくさんの貴い出会いと別れを与えられながら1年の歩みを無事に終えられますこと、心より感謝しております。今日までの日々、子ども達と共に歩み 刻んできた一瞬一瞬 そのすべてが、保育園にとって また私自身にとって素晴らしい思い出であり宝物です。

明日28日には、いるか組8名の 愛する子ども達が、つのぶえを巣立って行きます。ちょうど1週間前、私は年長組の部屋へ行き「卒園するとは ということなのか？」「保育証書とは何なのか？」ということについて話をしました。“入園”“卒園”“入学”“保育園”“幼稚園”“学校（小学校→中学校→高等学校→大学）”とホワイトボードに漢字で書き、この言葉（字）には、それぞれ意味があることを説明すると 子ども達は興味深い様子で 真剣に聞き入っていました。「入園と卒園の園は 保育園や幼稚園の園、入学の学は 学校の学」「園は 楽しく過ごせる所、動物園や公園にも 園がついてるね。でも、学校の学は まなぶと読むの。学ぶとは 勉強すること。だから、学校は 勉強をする所なのです。そして 入は “はいる” という意味で、卒は “おわる” という意味。“卒園”は “保育園が終わる” ということ、“入学”は “学校に入る” ということなの。4月からのみんなは “園児” という “楽しいことばかりして遊んでいる（児）子ども”を 終わりにして、“学生”という “学ぶ人”になるんだよ。どう？だいじょうぶかな？」私の言葉に「なるほど～」と頷きながらも「だいじょうぶかな」「え？ず～っと勉強？」「休み時間ある？」「学生って大変だぁ」とちょっぴり緊張した顔に変わっていました。さらに 保育証書についても「“つのぶえの子どもである”ことの 大切な永遠の証明書」であり、ここに記されている一つ一つのは「つのぶえで 何番目の卒園生かの番号、朱色の “ハンコ”（園の印鑑と割印）は、自分のことに責任をもって 周りの人を愛し 神様に守られながら成長して立派に卒園出来ましたという、OK サインであること等、すべてが重要な印であり、1人1人にとって 世界で1枚の大切な「証」であることを話しました。子ども達は 瞳をキラキラと輝かせて食い入るように耳を傾けていました。「卒園式で保育証書をもらったら、ハンコ確認しなきゃ！」「一生 大切に作るからね」と、証書を手にする時を 楽しみに待ち望んでいる様子が、とても微笑ましかったです。それからもう一つ、保育証書は みんなへの “頑張ったね！” というお祝いの証と共に お仕事をしながら みんなを一生懸命に育ててこられた お家の方達への感謝と労いの 想いも込めていることを伝えると、「うん！」「ママ、いつも がんばってたもんね～！」「一緒にもらってことだね」「嬉しいな」と 優しいまなざしで 言い合っていました。明日の卒園式は きっと そんな8名の子ども達1人1人の清らかな心が満ちあふれた 温かな旅立ちの時となることでしょう。祈りを込めて笑顔で送り出したいと思います。そして皆様、1年間 ほんとうにありがとうございました。温かな御協力と御理解はいつも 私達の大きな支えと励ましとなって前進できました。心より感謝しております。新年度も 祈りを合わせ、精一杯 尽力致します。どうぞ よろしくお願い申し上げます。

『人は 心に 自分の道を 思い巡らす。

しかし、その人の歩みを 確かなものにするのは、主である。（箴言 37：23）』

また、以下の スタッフ 6名が、今月末日付にて 退職します。

★ 石井 依子 保育助手（朝 時間外）	★ 瀬戸山 静香 保育士（ねこ組）
★ 小幡 葵 看護師（看護業務）	★ 花島 陽子 保育士（フリー）
★ 遠藤 希 栄養士（給食調理業務）	★ 三浦 ひとみ 保育士（フリー）

つのぶえを通して与えられた出会いとお働きを感謝しています。それぞれの道の上に神様の豊かな祝福と導きが いつも ありますよう これからも 皆でお祈りしています。ごきげんよう。主イエス・キリストの愛と ともに・・・（石田 記）